

ZEPHYROS

ゼフュロス No.44

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



DÜRER

∞ ALBRECHT DÜRER Religion, Portraits, Nature Prints and Drawings ∞

アルブレヒト・デューラー版画・素描展

— 宗教・肖像・自然 —

会期：2010年10月26日(火)～2011年1月16日(日)

アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然

ALBRECHT DÜRER Religion/Portraits/Nature Prints and Drawings



《聖アントニウス》1519年頃、エンブレイヴィング
メルボルン国立ヴィクトリア美術館
©National Gallery of Victoria, Felton Bequest, 1956



《聖母の婚約》「聖母伝」より
1504-05年頃、木版
国立西洋美術館

国立西洋美術館では、版画・素描展を開催する機会に恵まれています。というのも、海外の美術館との作品の貸し借りや国際会議などを通じた学芸員同士の交流により展覧会のアイデアが生まれることがあるからです。「アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然」も、オーストラリアとの交流で生まれた展覧会です。その経緯を簡単にご紹介しましょう。

今から9年前の2001年3月、オーストラリアの首都キャンベラの国立美術館で開催された「モネと日本」展に、国立西洋美術館はモネの《陽を浴びるポプラ並木》を貸し出しました。作品をキャンベラに搬送する際、作品保全のため同行する学芸員を「クーリエ」と呼びます。この仕事は、作品が無事に到着し、現地で展示作業を見届ける仕事です。私はクーリエとしてキャンベ

ラを訪れ、作品が無事展示された後、帰国時にメルボルンで乗り換えてヴィクトリア美術館の有名なデューラー・コレクションを調査することとしました。デューラー研究者の間では有名なコレクションですが、実際にそのコレクションを目にすると、その刷りの質の高さと作品の豊富さに驚かされました。当時、デューラーのコレクションを特別に閲覧させてくれたのはイレーナ・ザノヴィチ氏で、1994年にメルボルンでデューラー版画展を担当した学芸員です。彼女は翌年に定年退職ということでしたが、ぜひ海外でメルボルンのデューラー・コレクションを紹介したいという希望をお持ちでした。それならば、ぜひ東京で、と私から提案したのがこの展覧会の最初の一歩となりました。その後、他の展覧会をいくつか担当したため、デューラー展の企画をな



《騎士と死と悪魔》
1513年、エングレーヴィング
国立西洋美術館

なかなか進めることができなかったのですが、2007年にこの展覧会の実現を話し合うためにメルボルンの後任の学芸員であるキャシー・レイ氏のもとを訪れ、私のコンセプトを基に出品作品の選定に入りました。デューラーの名品を年代順に見せるのではなく、「宗教／肖像／自然」という三つの視点からデューラーの版画芸術の特質に迫るという私の企画は、メルボルンで受け入れられ実現に至りました。

ところでこの展覧会への作品貸し出しに際して、メルボルンから寄付金の類いは一切要求されていません。その理由は、この企画が学芸員同士の交流から生まれた学術的なものであるからです。昨今の大展覧会では、どうしても多額の寄付金が要求されるため（海外の大美術館は、どこも運営資金が不足していることによるのですが）、大



《岐路に立つヘラクレス（嫉妬）》
1498年頃、エングレーヴィング
メルボルン国立ヴィクトリア美術館
©National Gallery of Victoria, Felton Bequest, 1956

きなスポンサーシップがない限り日本での開催が難しくなっています。そうした苦しい現状ではありますが、国立西洋美術館では、こうした学術交流に基づくボトムアップの展覧会を今後も大事にしていきたいと思っています。

（国立西洋美術館主任研究員 佐藤 直樹）

アルブレヒト・デューラー版画・素描展

一般 850円 (600円)

大学生450円 (250円)

高校生以下および18歳未満の方は無料

（入館の際に学生証または年齢の証明できるものをご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

*本展の観覧券で常設展示も併せてご覧いただけます。

表紙 (Title Page) :

アルブレヒト・デューラー《聖エウスタキウス》

1501年頃、エングレーヴィング

メルボルン国立ヴィクトリア美術館

©National Gallery of Victoria, Felton Bequest, 1956

保存修復の仕事



保存修復室



修復後のポスター
ジュール・シェレ

《フォリー・ベルジェールのポスター：ロイ・フラー》
1893年、リトグラフ、国立西洋美術館

半世紀前には数えるほどであった版画素描の所蔵作品は今や約3,850点に達し、さらに現在もその数を増やしながら適切な環境管理のもと、新館にある版画素描収蔵室へ収蔵されています。

これら作品たちの健康管理の役割を担うのが企画展示館にある保存修復室です。ここは美術館が所蔵する美術品の保存修復を目的にデザインされており、温湿度の管理はもとより、自動開閉できる天井、薬品庫、大きな作業台、顕微鏡、照明器具などが並ぶ美術館の中でもちょっと異質な雰囲気を持つ空間です。自らの所蔵品の保存修復を目的として作られた設備を独自の館内に持つ美術館は国内でも数少なく貴重な存在です。

保存修復の仕事は美術館が所有する版画素描水彩作品の展示、他館への貸し出し、新規コレクション、そして所蔵品の保存管理、修復処置を行っています。仕事の手順は病院のそれと似ており、まず診断をして患者（作品）の健康状態を確認し病気を見つけたら保存修復室に入院（移動）させて

その症状にあった適切な治療（処置）を施します。処置を行う前には十分な検査をして病状を確かめます。そして検査や処置に当たってはカルテ（報告書）が作成されます。症状は軽症から重症まで様々ですが、基本はコンサベーション、つまり劣化を予防、抑制、遅滞させるために必要な処置を行うことを目的としています。

ひとつ例をあげましょう。19世紀に作られた大判のポスターはその性質上、痛みがひどく至る所に破れや大きな欠損を伴っていました。この作品は鑑賞の妨げにならないよう配慮しながら補修され、昨年の「国立西洋美術館開館50周年記念事業 かたちは、うつる—国立西洋美術館所蔵版画展」で紹介されましたが、鑑賞者はその欠損した部分や残された染みも含めて当時の面影やその作品が辿ってきた歴史を感じ取ることができたことでしょう。

保存修復の仕事は貴重な財産である作品たちの100年後の未来をも見据えて必要な努力を続けているのです。

（国立西洋美術館研究補佐員 内田 香里）

Touch the Museum



操作イメージ

国立西洋美術館が開発してきた常設展のための新しい鑑賞ガイド「iPhoneアプリケーション Touch the Museum」が、2010年3月31日より、AppleのiTunes Store内App Storeにて無料でリリースされています。

この「Touch the Museum」は、当館で貸し出されるものではなく、皆様ご自身にiPhoneまたはiPod touchへダウンロードしていただき、実際の常設展示室でご利用いただくためのアプリケーションです。コンテンツは従来の音声ガイドとは異なり、他の美術館に所蔵されている作品の画像やNHKアーカイブスに収められている映像を活用するなど、視覚資料を重視している点に特徴があります。また、館長や研究員、建築史家らによる現場での解説映像も収録されており、ギャラリートークに似た感覚を味わうこともできます。

●常設展示

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ・ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

国立西洋美術館では、2006年から「ウェル.com美術館プロジェクト」と題した試みや、文化庁から受託した音声・映像ガイドに関する研究などを通じて、モバイル端末をもちいた鑑賞ガイドの可能性をさまざまに探ってきました。もちろん、絵画や彫刻の並ぶ美術館に、果たしてデジタルの情報など必要なのかと感じる方もいらっしゃるかもしれません。とはいえ、今日の技術や情報環境を活かすことで、かえって効果的に見えてくる過去の作品の新たな魅力というものも、きっとあるのではないのでしょうか。「Touch the Museum」が、少しでも当館の所蔵作品を見つめ直していただけるきっかけとなることを願っています。ぜひ、実際の展示室内でご体験ください。

(国立西洋美術館研究員 新藤 淳)

常設展示

一般 420円 (210円)

大学生 130円 (70円)

高校生以下及び18歳未満、65歳以上、心身に障

害のある方及び付添者1名は無料

(入館の際に学生証または年齢の証明できるもの、障害者手帳をご提示ください。)

* ()内は20名以上の団体料金

EVENT イベント

「アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然」に関連して下記のプログラムを実施しますので、ぜひご参加ください。

記念講演会

①10月26日(火) 13:00～14:30

キャシー・レイ

(メルボルン国立ヴィクトリア美術館版画素描室長)

「ヴィクトリア美術館のデューラー・コレクションについて」

②11月14日(日) 14:00～15:30

勝 國興 (同志社大学名誉教授)

「デューラー研究家 前川誠郎」

③11月28日(日) 14:00～15:30

越 宏一 (東京藝術大学名誉教授)

「デューラーの版画芸術―様式的展開」

④12月12日(日) 14:00～15:30

青山愛香 (獨協大学准教授)

「デューラーの遍歴時代」

⑤2011年1月9日(日) 14:00～15:30

秋山 聡 (東京大学准教授)

「デューラーにおける名声のメカニズム」

※講演会の内容は急遽変更となる場合があります。最新の情報は国立西洋美術館ホームページでご確認ください。

会場：国立西洋美術館講堂

定員：各回先着140名（聴講無料。ただし、展覧会の鑑賞については別途観覧券が必要です。）

参加方法：当日12:00より、館内インフォメーションにて聴講券を配付します。なお、会場の講堂へは企画展改札（地下1階）を通過する必要があるため、聴講券のみで通過いただけるのは開演30分前からとなります。（開場時間は各日共開演30分前）

ギャラリートーク

展覧会のみどころやおもな作品について、夜間開館を行っている次の金曜日に、当館研究員がギャラリーで解説を行います。

日時：11月5日(金)、11月19日(金)、
12月3日(金)、12月17日(金)
毎回18:00～（約40分）

集合場所：国立西洋美術館講堂

定員：各回先着50名（参加無料。ただし、展覧会観覧券が必要です。直接集合場所にお越しください。）

当館の常設展や建物に関して下記のプログラムを実施しておりますので、ぜひご参加ください。

美術トーク／建築ツアー

美術トーク

ボランティアスタッフによるギャラリートークです。常設展示室の作品4～6点を、参加者の皆さんと一緒に鑑賞していきます。

日時：開館している日曜日14:00～（約50分）

※4月より開始時間・集合場所を変更しました。

※美術トークは、事前の整理券がなくなりました。どうぞお気軽にご参加ください。

集合場所：本館常設展示室19世紀ホール内

当館の所蔵作品や建物を多くの皆さまに楽しんでいただくプログラムです。どちらもボランティアスタッフによって行われ、参加費は無料です（ただし常設展または企画展の観覧券が必要です）。

建築ツアー

フランスの建築家、ル・コルビュジエによって設計された本館や前庭を、ボランティアスタッフと一緒に歩きながら楽しめます。

日時：開館している第2・第4日曜日 15:00～（約50分）

定員：各回15名（先着順）

※14:30よりインフォメーションにて整理券を配布します。

集合場所：本館1階ロビー

※美術トークと建築ツアーは都合により中止とさせていただくことがあります。

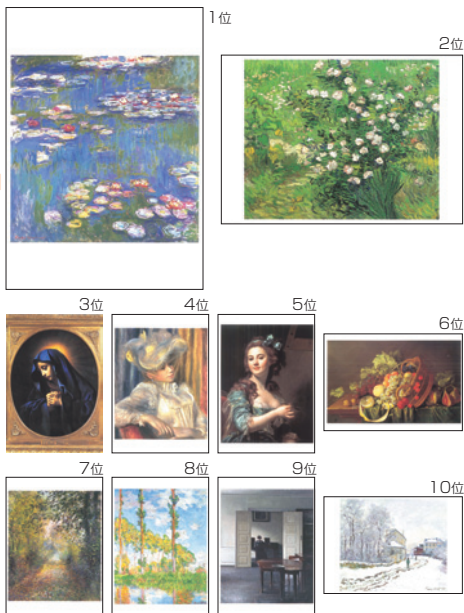
Museum shop ミュージアム ショップ

絵はがき 92種類 80円(税込み) 好評販売中

絵はがき人気ランキングTOP 10

1. 睡蓮/クロード・モネ
2. ばら/フィンセント・ファン・ゴッホ
3. 悲しみの聖母/カルロ・ドルチ
4. 帽子の女/ピエール＝オーギュスト・ルノワール
5. 自画像/マリー＝ガブリエル・カベ
6. 果物籠のある静物/コルネリス・ド・ヘーム
7. 木かげ/ピエール＝オーギュスト・ルノワール
8. 陽を浴びるポプラ並木/クロード・モネ
9. ピアノを弾く妻イダのいる室内
/ヴィルヘルム・ハンマースホイ
10. 雪のアルジャントゥイユ/クロード・モネ

●トップ3は毎年変わりませんが…
近年では、2008年に購入した
ハンマースホイの作品が人気を集めています。



この夏、新収蔵作品の中からお客様のご要望の多かった
ウィリアム＝アドルフ・ブーグロー<少女>
ジョヴァンニ・セガンティーニ<羊の剪毛>が
絵はがきに新たに加まりました。
これらがトップ10にどれだけ近づけるでしょうか？
現在92種類ある絵はがきのなかから、
あなただけのお気に入りの1枚を見つけてください。



ウィリアム＝アドルフ・ブーグロー
＜少女＞



ジョヴァンニ・セガンティーニ
＜羊の剪毛＞

Cafe カフェ「すいれん」



「アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然」
特別メニュー

「5種のソーセージ盛り合わせ 1,260円(税込み)
キャベツのマリネ添え」

期 間 2010年10月26日～2011年1月16日

●ドイツ出身のデューラーにちなんで、5種類（左からポーク、ハバネロ、
ガーリック、バジリコ、北海道（牛乳入り））のウィンナーの盛り合わせ
を用意しました。ドイツ産の白ワインとともにご賞味ください。

チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェ「すいれん」）でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除品がございます。） 詳細については、当館HPをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2010年8月～2011年1月

休 館 日 土・日・祝日

AUG	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8																															
ナポリ・宮廷と美—カポディモンテ美術館展 ルネサンスからバロックまで (企画展示室) 6月26日(土)～9月26日(日)																															
オノレ・ド・ミエ版画展—『カリカチュール』と初期の政治諷刺画—(新館2階版画素描展示室) 6月26日(土)～9月5日(日)																															

SEP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
9																														
	ナポリ・宮廷と美—カポディモンテ美術館展 ルネサンスからバロックまで (企画展示室) 最終日9月26日(日)																													
	オノレ・ド・ミエ版画展(新館2階版画素描展示室) 最終日9月5日(日)																													
	19世紀フランス版畫の闇と光(新館2階版画素描展示室) 9月18日(土)～11月28日(日)																													

OCT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10																															
	全館休館 10月4日(月)～10月12日(火)																														
	アルブレヒト・デューラー版画・素描展 (企画展示室) 10月26日(火)～2011年1月16日(日)																														
	19世紀フランス版畫の闇と光—メリヨン、ブレダン、ブラックモン、ルドン (新館2階版画素描展示室) 9月18日(土)～11月28日(日)																														

NOV	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
11																														
	アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然 (企画展示室) 10月26日(火)～2011年1月16日(日)																													
	19世紀フランス版畫の闇と光—メリヨン、ブレダン、ブラックモン、ルドン(新館2階版画素描展示室) 最終日11月28日(日)																													

DEC	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12																															
アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然 (企画展示室)10月26日(火)～2011年1月16日(日)																															
アウトサイダーズ(新館2階版画素描展示室) 12月7日(火)～2011年2月13日(日)																															

JAN	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然 (企画展示室)10月26日(火)～2011年1月16日(日)																														
	アウトサイダーズ(新館2階版画素描展示室)12月7日(火)～2011年2月13日(日)																														

※展覧会名、会期、内容等に変更されることがあります。

●全館休館のお知らせ

館内整備のため、2010年10月4日(月)～10月12日(火)の期間、全館休館いたします。
来館者の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますこと、心よりお詫び申し上げます。
何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間
通常…午前9時30分～午後5時30分
(ただし、秋の企画展開会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中＝午前9時30分～午後5時)
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日) 10月4日(月)～12日(火) 年末年始(12月28日～翌年1月1日)
*その他、臨時に開館・休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600

<http://www.nmwa.go.jp/>

※ 誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフェロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色さまざまな花々を運び春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第44号

編集・発行 国立西洋美術館/平成22年8月20日(年4回発行)
協力 (財) 西洋美術振興財団
印刷 (株) アイネット